

資料・情報をさがす

- I 図書館の利用
- Ⅱ 参考文献のさがし方
- Ⅲ 福祉に関する情報

□ 図書館の利用

大学での学習には、教科書以外にも多くの資料が必要となってきます。図書館を上手に利用することで 学問の幅を広げることができます。本学図書館をはじめ、公共図書館および国立国会図書館、他の大学図 書館等を最大限利用してください。

1 東北福祉大学 図書館 (以下「本学図書館」と省略)

学生証を携帯し、開館時間を確認のうえ、来館してください。

図書館関係の各種申込み・問合せ等は、本学図書館までお願いします。

利用に関する詳細は、入学時に配布の「通信教育生、看護学校生のための図書館ハンドブック」をご覧ください。

なお、本学図書館2Fでパソコンが利用できます。その際は、まず2Fカウンターで受付をしてください。

問合せ先 住 所: 〒981-8522 仙台市青葉区国見1-8-1

電話·Fax:022-717-3309

E-mail: etsuran@tfu-mail.tfu.ac.jp

ホームページ: http://www.tfu.ac.jp/libr/tful.html

■開館日および開館時間

平 日 9:00~20:00 土・日・祝日 10:00~18:00

ただし、授業期間外において学務行事のない日は、

平 日 9:00~17:00

土・日・祝日 休館

■休館日

. 授業期間外において学務行事のない日 入学式, 卒業式 入学試験日

夏季・冬季・春季各休業中の一定日 学園創立記念日

*臨時休館等はホームページ,図書館 掲示板に掲載します。

2 他の大学図書館

他の大学図書館を利用するときは、原則として「閲覧許可願」(紹介状)が必要になりますので、事前に本学図書館の中央カウンター(3F)まで郵送・Fax・E-mailでご連絡ください。利用を希望する他の大学図書館に資料の所蔵および利用の可否を問い合わせた上、許可され次第こちらから「閲覧許可願」を発行し送付します。

- ・身分証明書を持参することで、入館・閲覧・貸出可能な図書館もあります。 くわしくは各大学図書館のホームページをご参照ください。
- ・試験期間などの混雑期は、一般の利用を制限している大学図書館もあります。
- ・利用の際は、各大学図書館の利用規則を遵守してください。

3 公共図書館

お近くの公共図書館は一番利用しやすい図書館ですので、ご利用をお勧めします。ただし、学術的な資料は大学図書館と比較して少ないかと思われます。

お探しの資料が居住区の公共図書館にない場合、公共図書館間の相互利用システムにより、資料の取り寄せができます。詳細については、各公共図書館のレファレンス・コーナー (調査・相談コーナー) にお問合せください。

4 図書館での複写

図書館で行う資料の複写(コピー)は、著作権法で許された範囲内になります。

- ・目的が個人的な調査研究であること。
- ・雑誌・新聞の最新号はコピーできません。
- ・コピーできる範囲は、雑誌は論文単位、図書は一部(半分以下)、いずれも1部のみです。

Ⅲ 参考文献のさがし方

通信教育での自学自習という学習スタイルにあっては、難しいこと、わからないことが出てきたとき に、自分で調べることができる手段(ツール)を多くもつことが学習の継続につながります。

具体的には、辞典・事典類などを手元に置いてまめに引くこと、文献の検索・入手方法に習熟すること、コンピュータをお持ちの方はインターネットによる情報の入手方法に慣れることなどです。

1 辞典・事典類

1) 専門辞典・事典

専門用語は、国語辞典では不十分な解説しか得られません。専門用語の定義や説明は、それぞれの分野の専門辞典(事典)で調べるようにしてください。まずは、図書館で利用され、専門科目を多く学ぶ2年次になるまでには、一冊は自分で購入されておくことをお勧めします(*は推薦図書)。

社会福祉学関連で手軽な辞(事) 典には、次のようなものがあります。

- *『社会福祉基本用語集(七訂版)』(ミネルヴァ書房)
- *『社会福祉用語辞典(第7版)』(ミネルヴァ書房)

『現代社会福祉辞典』(有斐閣)

*『社会福祉用語辞典(4訂)』(中央法規)

『社会福祉士 介護福祉士のための用語集』(誠信書房)

『現代福祉学レキシコン (第2版)』(雄山閣)

『社会福祉用語辞典』(棋苑図書)

『現代社会福祉用語の基礎知識(第9版)』(学文社)

『地域福祉辞典』(中央法規)

『現代エイジング辞典』(早稲田大学出版部)

『社会福祉辞典』(大月書店)

福祉心理学関連で手軽な辞(事)典には、次のようなものがあります。

(心理学全般)

*『心理学辞典』(有斐閣/CD-ROM版もあり)

『心理学小辞典』(有斐閣)

*『誠信 心理学辞典』(誠信書房)

(心理学各論)

『発達心理学辞典』(ミネルヴァ書房)

『発達心理学用語辞典』(北大路書房)

『認知心理学事典』(新曜社)

『教育心理学小辞典』(有斐閣)

『教育心理学新辞典』(金子書房)

『社会心理学小辞典』(有斐閣)

『改訂新版 社会心理学用語辞典』(北大路書房)

『カウンセリング辞典』(ミネルヴァ書房)

『カウンセリング辞典』(誠信書房)

『現代カウンセリング事典』(金子書房)

『臨床心理学辞典』(八千代出版)

2) 六 法

法律を集めた本は通称「六法全書」とよばれています。

社会福祉を学ぶうえでは、法律を知っておくことも大切です。社会福祉関係の法律を集めた六法全書には、次のようなものがあります。

『改訂版 社会福祉小六法』(ミネルヴァ書房) 『社会福祉六法』(新日本法規)

『福祉小六法』(中央法規) 『社会福祉基本六法』(誠信書房) 『福祉小六法』(みらい) 分野ごとに『高齢者保健福祉六法』『児童福祉六法』『知的障害者福祉六法』などより詳しく載せている六法全書や『身体障害者福祉関係法令通知集』などの法令通知集もあります。

また、法律もインターネットで検索可能です。総務省行政管理局のホームページ(法令データ提供システム) http://law.e-gov.go.jp/cgi-bin/idxsearch.cgi をご利用ください。

2 新聞・雑誌

1)新聞・雑誌の利用

一般の新聞の家庭欄などには福祉関連の記事が多く出ます。もう少し専門的に最新の動向をつかむには、雑誌が最適です。社会福祉学・心理学分野の代表的な雑誌をあげておきます。

社会福祉学分野

*『NHK社会福祉セミナー』(日本放送出版協会) = 入門者向き

*『月刊福祉』(全国社会福祉協議会) 『地域福祉情報

『週刊 福祉新聞』(福祉新聞社)

『おはよう21』(中央法規)

『地域福祉情報』(ジャパン通信情報センター)

『月刊社会福祉』(NCL)

『社会保険旬報』(社会保険研究所)

『ふれあいケア』(全国社会福祉協議会) 『週刊社会保障』(株式会社法研) 『ケアマネージャー』(中央法規) 『隔月刊 社会保障』(あけび書房)

『ケアマネジメント』(環境新聞社) 『季刊 児童養護』(全国社会福祉協議会)

心理学分野

『こころの科学』(日本評論社) 『現代のエスプリ』(至文堂)

『児童心理』(金子書房) 『臨床心理学』(金剛出版)

『発達』(ミネルヴァ書房) 『心理学ワールド』(実務教育出版)

2) 学会誌

学会などの学術団体が発行する雑誌は、学会誌とよばれています。専門性が高いものですので、ある程度の基礎知識を身につけてから、読み進めていきましょう。

社会福祉学分野

『社会福祉学』(日本社会福祉学会) 『老年社会科学』(日本老年社会科学会) 『社会福祉研究』(財団法人 鉄道弘済会) 『季刊社会保障研究』(社会保障研究所)

『日本の地域福祉』(日本地域福祉学会) 『特殊教育学研究』(日本特殊教育学会)

心理学分野

『心理学研究』 『心理学評論』 『教育心理学研究』

『家族心理学研究』 『児童心理学の進歩』 『健康心理学研究』

『発達心理学研究』 『発達障害研究』 『認知科学』

『コミュニティ心理学研究』 『パーソナリティ研究』(旧『性格心理学研究』)

『社会心理学研究』 『実験社会心理学研究』 『産業・組織心理学研究』

『心理臨床学研究』 『カウンセリング研究』 『臨床心理学研究』

『犯罪心理学研究』 『質的心理学研究』

また、各学会の大会発表論文集も参考になる場合があります。

3)紀 要

大学・短期大学の学部や研究所が発行する雑誌は、紀要とよばれています。東北福祉大学では、 『東北福祉大学研究紀要』、『東北福祉大学大学院研究論文集―総合福祉学研究』、『東北福祉大学社会 福祉研究室報』ならびに『東北福祉大学感性福祉研究所年報』などを発行しています。

4) 論文検索

学術雑誌に掲載された論文は、国立国会図書館編『雑誌記事索引』で検索することができます。図書館によっては、CD-ROM版を持っており、検索が容易な場合もあります。NDL OPAC (http://opac.ndl.go.jp/) でも検索できます。

また、インターネットなどで「CiNii(論文情報ナビゲータ)」「NACSIS Webcat(総合目録データベース)」を用い、「キーワード」から関連論文を探す方法があります。なお、これらの論文検索サイトは東北福祉大学図書館ホームページに「データベース」としてリンクが張られております。卒業

5) インターネットの利用

3 テレビ・ビデオ・映画・小説などの活用

1) テレビ

抽象的な学問の内容を理解するためには、その基礎となる具体的な現実をイメージできるようになることが早道です。心理学の場合は人間の行動と意識が対象ですから、ご自分の日常生活をふりかえって理解できる場合も多いと思います。社会福祉学では、福祉サービスの利用者やその家族・関係者、および施設やそのなかで働く人々がどのような問題をかかえているのかについて未知の方は、施設・病院見学やボランティア活動などを通して実際の福祉の現場に少しでも触れてみることが必要ではないかと思います。

時間の都合でボランティア活動などが難しい方は、テレビで福祉関連の番組(NHK教育テレビ「福祉ネットワーク」ほか)をチェックしたり、次のようなメディアに触れてみませんか。

2) ビデオ

高齢者介護や障害者と接するための方法を解説した実技ビデオは、本学図書館や公共図書館に置かれていて、入門者には有効です。なお、心理学の入門ビデオとして定評のあるものに、P. ジンバルド監修『心理学への招待』(全26巻 丸善)があります。

3)映画

障害者を主人公にした有名な映画は数多くあります(たとえば自閉症『レインマン』『学校II』、知的障害『八日目』『ギルバート・グレイプ』『フォレスト・ガンプ』『レナードの朝』『静かな生活』、聴覚障害『愛は沈黙をこえて』『愛は静けさの中に』『アイ・ラヴ・ユー』、視覚障害『竹山一人旅』『奇跡の人』、精神障害『カッコーの巣の上で』など)。

4)図書

小説では、認知症老人とその家族を描いた『恍惚の人』(有吉佐和子)は名作(他に佐江衆一『黄落』など)。『永遠の仔』(天童荒太)は子ども虐待と老人問題を扱っています。山に捨てられる老婆とその息子の葛藤を描いた『楢山節考』(深沢七郎)、障害児をもつ家族を描いた『くるま椅子の歌』『桑の子』(水上勉)もあります。絵本では『さっちゃんのまほうのて』(田畑精一ほか)が有名。また、福祉関連のノンフィクション、ルポルタージュは数多く出ています。児童虐待がテーマの『"It"と呼ばれた子』、精神障害者やその家族の手記を集めた『こころの病い―私たち100人の体験』『こころの病い2―家族の体験』は一読の価値あり。また、障害をもつ人本人の著作としては『五体不満足』(乙武洋匡)、『車イスから見た街』(村田稔)が代表的です。

5)漫画

ろう重複障害者の就労問題をテーマにした『どんぐりの家』(山本おさむ), 自閉症児の発達がテーマの『光とともに…』(戸部けいこ), 車イスバスケットボールを扱った『リアル』(井上雄彦), 高齢者介護を描いた『ヘルプマン』(くさか里樹) などが話題になっています。

Ⅲ 福祉に関する情報

1) 地方自治体の利用

地方自治体の保健福祉課(名称は自治体ごとに違います)では、児童・障害者・高齢者に対する各 自治体の福祉制度の紹介などを記したパンフレットを配布しています。福祉政策の概略を知るにはよ いかもしれません。

また、たとえば仙台市の場合は「シルバーセンター」(青葉区花京院1-3-2)内に「福祉図書室」(022-215-3191)があり、福祉関連の書籍・雑誌が閲覧できます。

2) 関係機関の訪問

「高齢者福祉論」「児童福祉論」「精神保健福祉論॥」「福祉計画法」「福祉心理学」「障害児教育 I・ II」ほかのレポート課題を解答する際には、自治体の施策を調べたり、パンフレットを参考にしたり、その他施設や社協、学校等を訪問・見学することが望ましい、と記されています。

単にパンフレットを入手するだけならばアポイントは不要ですが、自治体や施設・学校を見学希望であったり、くわしい話しを聞きたい場合は、下記のような点をお守りください。

- (1) 事前に電話でアポイントメント(訪問日時の約束)をとる
- (2) 所属・氏名を明らかにし、ヒアリングをしたい場合は事前に簡単に何を聞きたいのか伝えておいたほうが望ましい
- (3) 目的は「レポート課題のため」というよりも、自分の関心や課題内容に即して、「介護保険制度が詳しく知りたい」「精神障害者の地域生活支援の実際の整備状況が知りたい」などのように話すほうが望ましい
- (4) 相手は忙しいなか時間をさいてくれているわけなので、感謝の気持ちを忘れないようにする

3) 白書の利用

福祉の動向や現状を知るには、毎年秋ごろ発行される『厚生労働白書』(厚生労働省監修)、『障害者白書』(内閣府)、『子ども・子育て白書』(内閣府)が、役立ちます。『厚生の指標 臨時増刊 国民の福祉の動向』(厚生統計協会)、『社会保障の手引』(中央法規)もよく利用される資料です。

教育関係ならば『文部科学白書』(文部科学省編 財務省印刷局発行),『我が国の文教施策』(文部科学省編 財務省印刷局発行)が便利です。

その他、官公庁の発表する政策や各種統計に関する資料は「白書」類で調べるとよいでしょう。なお、「白書」の多くは概要が官公庁のホームページで閲覧できます。

4) 福祉の仕事

福祉の仕事に関してくわしく知りたい方には、次のようなガイドブックが役立ちます。福祉関連の 就職をお考えの方は、是非お読みください。

『福祉の仕事ガイドブック』『社会福祉士のしごと』(中央法規)

『社会福祉士まるごとガイド(改訂版)』『福祉の「しごと」と資格まるごとガイド』(ミネルヴァ書房) 『これからの精神保健福祉―精神保健福祉士ガイドブック』(へるす出版)

5) 社会福祉協議会

都道府県、各市町村におかれている社会福祉協議会(社協と略して呼ばれることが多いです)でも、福祉に関する情報が多く入手できます。各県の社会福祉協議会のなかにある「福祉人材センター」(名称は県によって異なります)は就職に関する情報提供なども行っています。

情報コーナーがあり、福祉関連の図書が充実しているところもあります(新潟県・栃木県・福岡県など)。ボランティアに関しても、各社協のなかに情報コーナーをおいたり、講習会・研修会を開催しているところもありますので、希望する方は問い合わせてみてください。

以下に東日本の都道府県の社会福祉協議会の住所・連絡先を掲載しましたので、ご利用ください。

都道府県 社会福祉協議会一覧

都道府県		住 所	電話番号
北 海 道	〒060-0002	札幌市中央区北2条西7丁目1 北海道立社会福祉総合センター内	011-241-3976
青森県	〒030-0822	青森市中央3-20-30 県民福祉プラザ内	017–723–1391
岩手県	〒020-0831	盛岡市三本柳8地割1番3 ふれあいランド岩手内	019-637-4466
宮城県	〒980-0011 〒980-0014	仙台市青葉区上杉1-2-3 宮城県自治会館内 仙台市青葉区本町3-7-4 宮城県社会福祉会館 1 階	022-225-8476 022-262-9777
秋田県	〒010-0922	秋田市旭北栄町1-5 秋田県社会福祉会館内	018-864-2711
山形県	〒990-0021	山形市小白川町2-3-31 山形県総合社会福祉センター内	023-622-5805
福島県	〒960-8141	福島市渡利字七社宮111 福島県総合社会福祉センター内	024-523-1251
茨 城 県	〒310-8586	水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館内	029-241-1133
栃木県	〒320-8508	宇都宮市若草1-10-6 とちぎ福祉プラザ内	028-622-0524
群馬県	〒371-8525	前橋市新前橋町13-12 群馬県社会福祉総合センター内	027-255-6033
埼玉県	〒330-8529	さいたま市浦和区針ケ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ内	048-822-1191
千葉県	〒260-8508	千葉市中央区千葉港4-3 千葉県社会福祉センター内	043-245-1101
東京都	〒162-8953	新宿区神楽河岸1-1 飯田橋セントラルプラザ内	03-3268-7171
神奈川県	〒221-0844	横浜市神奈川区沢渡4-2 神奈川県社会福祉会館内	045-311-1423
新潟県	〒950-8575	新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3F	025-281-5520